

日中で産業口术生産拡大

安川電機 本社工場 200人増員

で安川電機は日本と中国の生産用ロボットの生産体制を拡充する。国内では工場で2000人増員するなどして2005年度に月産3000台とし、現在年産2割程度増産する。中国工場では自動化による効率向上や人員増強を検討しており、来期に生産能力を現在の6割引き上げる。月産2000台に引き上げる方針だ。中国の自動車工場向けを中心に韓国で需要が伸びていることに対応する。

ロビンソンを生産する北九州市の本社工場について、製造を請け負う子会社の安川マニユファクチャリング(北九州市)を昨年度よりもう5000台増員する。月産15000台の生産能力を来期に同2000台へと引き上げる。

また、昨春稼働した中国・江蘇省常州市のロボット工場も昨年度は月1000台程度の生産だった

が、現在は同2500台のロボットを生産に移行。今後、ロボットや製造装置の導入拡大で製造ラインの自動化や人員増などを検討し、来期の生産能力を同5000台に増強する。

一方、巴安の進行によりコスト面で「一部のものづくりに中国に勝っている」という。(津田純嗣会長兼社長)という。このため、ロボットなど需要地での生産を重



た。タクシー大手の第一交通産業も同利益が6%減。食品卸のヤマエも「物流費の増加に加え、製品の価格上昇によりメ

入飼料の高騰を反映して鶏卵相場が高止まりしていることが利益を圧迫したと説明する。

一方で、海外での需要小売りやサービス関連には影響を受けた企業がなかった。 Dressing 販売やレストラン運営のビエトロは売り上げが落ち込

た。予想を下方修正した理由は実感として、4月の消費増税の影響が当初想定より大きかったという。一方、輸出が伸びてい

少ないと考え、中国など需要地に近いことから進出を決めた」と話す。太陽インキ製造の売上高は152億円（14年3月期）。ゾルターレジストの和したことに關して市川



や日本などで生産。このうち中国から昨年末の輸出分について、日本へは、生産を行橋工場（福岡県行橋市）に切り替えている。「さらに国内に生産を移せる製品がないか検討する」（津田氏）

同社のロボットの売上高は14年4～9月期に672億円で、前年同期に比べて15%増。営業利益は4～9月期で比較すると、売上高と営業利益はいずれも過去最高だった。売上高は期初の予想に比べて22億円上振れしており、津田氏は「中国を中心に自動車工場向けの需要が好調だった」と分析。今後必要増量が見込めると判断し、生産体制の拡充を決めた。

化学黒鉛炭素業所（同市八幡区）内の敷地に約35億円を投じて建設。敷地面積は約8,000平方メートルで、建築面積は約5,300平方メートル。基板に塗布するタイプのほか、絶

新に設けられた九州事業所は立派なビルで、三

日商保険
ニッセイ
ファイナ

向けでは90%を占める。

日銀景気判断
11月も据え置き
九州・沖縄13力月連続
日銀福岡支店は13日、
11月の九州・沖縄の金融
経済概況を発表した。景
気全体は「緩やかに回復
しつつある」として基調判
断を13力月連続で据え置
きの景気が急速するリス
クを防ための政策」と
指摘。個人消費の堅調
さは失われていない。増
税が予定通り実施されて
も大企業は失速する可
能性は低い」と述べた。

木材活用など
連携協定締結
宮崎県と川崎市

北九州に絶縁膜新工場
太陽インキ 35億円投じ半導体向け

太陽ホールディングス キ製造は、北九州市内に
(HD)傘下の太陽イン プリント基板に塗布する 絶縁膜「ソルダー
ト」の製造工場を新

パッケージ基板に使用できる高機能・高品質な絶縁膜を埼玉県内の本社工場だけで生産している。製造拠点を増やすことにより大地震などの被災リスクを低減する。

業

レンタルオフィス活況

福岡市内

「アス（東京・渋谷）は。11月、JR博多駅近くに市内で2カ所目となる貸し出し用のオフィスを開業した。1カ月からの契約が可能で、費用は月2万5千円程度から。主に創業期の企業向けで、1〜6人

新規・外資が参入

「起業に関心の高い若年層の割合が高く、リージャスグループになじみのある外国人も多い福岡」。

福岡には2008年はベンチャー企業向けの

福岡市内でレンタルオフィスを手掛ける主な企業	
日本リソース(東京・渋谷)	2008年6月に九州へ初進出。JR博多駅近隣の拠点ではサービスや内装を簡素化し、料金を本社既存施設に比べ半分に抑えた
アイ・ピー・ピー(福岡市)	自社物件を使いインキュベーション施設を運営。10月に従来の個室型ではない共同オフィスを新設。独自の専門家ネットワークを活用した起業家にも対応
ドリームアクト(福岡)	6月に新規参入。まず10席の共同オフィスの貸出しを始め、9月には個室型も出した
重松商事(福岡市)	自社物件を使い市内2カ所で展開。貸し会議室事業も手始め、オフィスの契約者には通常の使用料金から3割引きにするサービスも



日本リジャスはJRB多摩駅近くに貸事務所を開設した（福岡市）

創業支援特区、追い風に

貸事務所事業に参入した。9月に博多駅周辺でレンタルオフィスを新設。経営に関する専門家の相談が受けられるほか、起業家らを招く独自のセミナーを無料で受けられる。今後も「中心市街地の天神や中洲で増やしたい」（ドリームアクト）という。

ベンチャー企業に投資する「アイ・ピー」（i b b、福岡市）は10月10日、天神地区にある同社のインキューベーション（孵化）施設内に、非個室型の共同レンタル事務所を新設した。

料金は月2万円以下に抑え、起業前の人にも対象にする。先輩の起業家で経営、財務の専門家で、継続するi b bネットワークを活用した支援を受けられるのが特徴だ。

開業率が最多

レンタルオフィス活況の背景には、景気の回復傾向を受けて福岡で起業が活発化していることがある。福岡市の外郭団体福岡アジア都市研究所によると同市の全事業所数に対する新設事業所の割合で「開業率」は13年度で7・1％、08年度に比べ1・6割上昇した。東京23区を含む全国13の主要都市で最も高い。

レンタルオフィス各社は福岡市が創業・雇用の活性化を目指す特区に選ばれたことで市場がさらに拡大すると思込んでいる。本リージャスは「天の川博多駅周辺」（岡元）という。

特区指定を受けた福岡市は開業率を18年度に13％まで高める目標を掲げている。市の目玉となる通りに創業が活発になれば商談などが増え、オフィス需要は高まる。

だが特区の施策のうち、創業を促す引き玉である法人実効税率の引き下げなどはまだ実施の時期区が決まっていない。「特区の指定ですぐに需要が膨らむ（市内の不動産関係者）との声もある。オフィス需要が今後、期待通りに膨らむか否かは特区の行方にも左右される」（高野壮一）

地域情報ヘッドライン
——日経電子版紙面ビューアーから

直南の商業施設、新幹線対応急ぐ
青島でLNG基地の建設始まる
岡技科大がセシウム分離で新技術
並区、条例で道路を強制拡幅検討
作機械、攻めの海外・守りの国内
にもおいしいトマトをネット通販

刊→地域経済（有料会員向け）

かげさまで「バージョングループ」は倉
日より12月14日(日)までバージョン
様のご来場を心よりお待ちしております

VERSION GROUP 50TH

業 50 周年を迎えることができました。日頃の
グループ各店舗にて 50th ANNIVERSAR
あります。

バー